

主催事業



いわてアートサポートセンター

鉤屋町界隈イベント情報

土 日
14▶15

第14回 町家de手づくり市

てどらんご

盛岡町家が並ぶ風情あふれる鉤屋町にハンドメイド雑貨が大集合!!
スタンプラリーも行ないます。遊び心をたくさん散りばめたイベントです。



【日 時】5月14日(土)・15日(日)
10:30~16:00

【会 場】盛岡市 鉤屋町界隈

【問合せ】 もりおかワカものプロジェクト

てどらんご facebook

<http://ja-jp.facebook.com/tedorango>

もりおかワカものプロジェクトブログ

http://www.morioka-style.com/morioka_project/



残花 -1945 さくら隊 園井恵子-

原案 / 上田次郎 作・演出 / 詩森ろば

戦時下、演劇活動を続けるため移動劇団「さくら隊」のメンバーとなった岩手出身の女優・園井恵子。彼女の生き様を通して、演劇に情熱を注ぎながらも夢半ばにして原爆の犠牲となった若き演劇人たちを描いた群像劇。

【出 演】林田麻里、坂元貞美、福本伸一、ザンヨウコ、酒巻誉洋、大石憲、庄崎真知子、熊坂理恵子、万里紗、畠山泉、竹鼻優太

《岩手町》5月22日(日)14時 岩手町スポーツ文化センター「森のアリーナ」
◎料金: 一般2,500円(当日3,000円)/学生1,500円(当日2,000円)
高校生以下無料

◎問合せ: 岩手町教育委員会 TEL: 0195-62-2111(代)

《盛 岡》5月25日(水)19時 岩手県民会館 大ホール
◎料金: 一般3,000円(当日3,500円)/シニア2,500円(当日3,000円)
高校生以下1,500円(当日2,000円)

◎問合せ: NPO法人いわてアートサポートセンター TEL: 019-604-9020

《鹿 角》5月26日(木)19時 鹿角市文化の杜交流館コモッセ 文化ホール
◎料金: 一般1,800円(当日2,000円)/高校生以下1,500円(前売・当日共)
親子ペア3,000円(前売のみ・コモッセにて取扱い)

◎問合せ: 文化の杜交流館コモッセ TEL: 0186-30-1504

《宮 古》5月28日(土)14時 宮古市民文化会館 大ホール
◎料金: 一般2,200円(当日2,500円)/シニア1,800円(当日2,000円)
学生1,000円(当日1,200円)

◎問合せ: 宮古市民文化会館 TEL: 0193-63-2511

《東 京》6月1日(水)~5日(日) 座・高円寺1
◎料金: 一般4,000円/学生3,000円(前売・当日共)

◎問合せ: 劇団銅鑼 TEL: 03-3937-1101(平日10:00~18:00)

mail: info@gekidandora.com

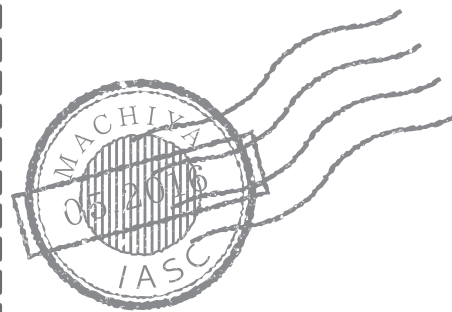
※各回ともに開場は開演の30分前。※未就学児の入場はご遠慮下さい。

発行者 特定非営利活動法人
いわてアートサポートセンター

【事務局/風のスタジオ・風のアトリエ】
〒020-0878 盛岡市肴町4-20 永卯ビル3階
TEL (019)604-9020 FAX (019)604-9021
E-mail kaze@iwate-arts.jp
URL <http://iwate-arts.jp>
【窓口営業時間】13:00~19:00(平日)
【施設利用可能時間】9:30~21:30

【もりおか町家物語館】
〒020-0827 盛岡市鉤屋町10-8
TEL (019)654-2911 FAX (019)654-2913
E-mail machiya@iwate-arts.jp
URL <http://machiya.iwate-arts.jp>
【開館時間】9:00~19:00(入館は18:30まで)
※浜藤ホールのみ、利用時は21:30まで
【休 館 日】毎月第4火曜(休日の場合はその翌日)
年未年始: 12/29~1/3
【入 館 料】無料 ※一部企画展は有料の場合があります。

◎プレイガイドをご利用下さい!
いわてアートサポートセンター窓口と、もりおか町家物語館母屋案内所には、プレイガイドを設置しております。
販売手数料5%(消費税込み)で、イベントチケットをお預かりします。
直接ご来館のうえ、職員にお声がけください。



もりおか町家・風の通信

5月号

VIVA!!

Children's Day!!

The Boy's Festival!!!





もりおか町家物語館



もりおか町家物語館 ゴールデンウィーク 町家の遊び場 GW スペシャル

【日 時】 5月3日(火・祝)～5月8日(日)
9:00～18:00(8日は17:00まで)

【会 場】 もりおか町家物語館 大正蔵2階 時空の展示室

【入場料】 無料 ※対象年齢 10歳以下

【問合せ】 もりおか町家物語館 019-654-2911

もりおか町家物語館 イベント情報

5/5 木・祝

3.11 絵本プロジェクトいわて主催
『出張絵本サロン』
絵本があって、ほっとできる場所、それが「絵本サロン」。

日時：5月5日(木・祝)
10:30～15:00

場所：もりおか町家物語館

入場料：無料

★おはなし会 11:00～/13:30～

★絵本クイズラリー
参加者には素敵なプレゼントも!

★おさかな釣り ★おおだし

【問合せ】 3.11 絵本プロジェクトいわて
TEL 019-654-5366

5/28 土

盛岡芸妓
お座敷体験講座

～もりおか町家で盛岡芸妓とお座敷遊び～
平成28年5月28日～11月26日(7月を除く)

【5月開催】 毎月第4土曜日開催!
日時：5月28日(土)
14:00～15:30

場所：もりおか町家物語館・母屋2階座敷

参加費：3,240円(茶菓付)

定員：20名
申込締切：各回とも開催日の
2日前(木曜日)の17:00まで

【問合せ】 盛岡観光コンベンション協会
もりおか町家物語館 TEL 019-654-2911

事業報告

盛岡町家旧暦の雛祭り 小田代直子 民謡 歌謡ショー



去る2016年4月9日と10日の2日間、鉾屋町・大慈寺町界隈にて「盛岡町家旧暦の雛祭り」が開催されました。

このイベントは旧家の雛飾りの展示等、約40会場を設け、県内は勿論、全国各地からおよそ1万人以上の方が訪れる、いまや盛岡を代表するイベントのひとつです。今年は晴天にも恵まれ、「もりおか町家物語館」も協賛として参加。当館「風の広場」では、オープニングセレモニーの開催や屋台の出店、「浜藤ホール」や母屋の常居では、地域の方たちやゲストによる日本舞踊や三味線、講師による演目等も披露されました。

また、4月10日(日)13:00からは、当館の主催事業として『盛岡町家旧暦の雛祭り 小田代直子民謡・歌謡ショー』を「浜藤ホール」にて開催。宮古市出身で平成26年「日本民謡フェスティバル」にてグランプリを獲得するなど、若さと実力を兼ね備えた民謡歌手「小田代直子」さんをお迎えし、若々しく迫力ある歌声をご披露頂きました。

また、三味線の「高橋忠大」さん、太鼓と踊り手の「井上ひとみ」さんのそれぞれのパフォーマンスのレベルの高さと、小田代さんとの息のあった圧巻のステージング、さらに小田代さんの軽快なトークと、盛り沢山のステージに、次回も見たいというお客さまも続出。雛祭りにふさわしい華やかなステージとなりました。



カフェ DOMA からのお知らせ

『もりおか お酒の学校～ワイン編』

もりおか町家の懐かしい雰囲気を楽しみながら、ワインを学びませんか?
今年のテーマは「ブドウ品種」。原料ブドウの個性を知る事でワインの知識が広がります。

【講師】 ワイン・コーディネーター 福井富士子氏

- 前期■ ブドウ品種の魅力を探る(白)
【日時】 平成28年
5月28日(土) 17:30～
6月25日(土) 17:30～
7月23日(土) 17:30～
【受講料】 全3回10,000円
【申込締切日】 5月14日(土)
- 後期■ ブドウ品種の魅力を探る(赤)
【日時】 平成28年
9月24日(土) 17:30～
10月22日(土) 17:30～
11月26日(土) 17:30～
【受講料】 全3回10,000円
【申込締切日】 9月10日(土)

会場：もりおか町家物語館内 カフェ DOMA 定員：20名
※前期3回、後期3回の6回コースです。なお、後期申込は前期受講者を優先し、空きが出た場合は、後期のみ申し込みも受け付けます。
※座席に余裕がある場合、1日のみの受講も受付をいたしますので、ご相談ください。

【問合せ】 もりおか町家物語館 019-654-2911

カフェ DOMA
営業時間
11:00～16:00

※カフェ営業時間以外でも、施設開館中は展示見学可能です。

※毎月第4火曜日は休館日です。(5/24は休館日)



『高田せい子展』

☆開催中～2016.5.29(日)まで☆

愛媛県生まれ。大分県立芸短大付属緑丘高校卒業後、東京セツモードセミナーへ入学。卒業後は、東京・青山のギャラリー Yui にて個展を開催。雑誌 anan 絵本グランプリ賞を受賞。イラストレーショングラフィック展入選数回。雑誌、新聞、フリーペーパーへのイラスト・エッセーを掲載。現在盛岡市在住。

リレーコラム No.1

「残花 —1945 さくら隊 園井恵子—」

園井恵子さんの写真をはじめて拝見したときに、うつくしいひとだな、と思いました。「残花—1945 園井恵子 さくら隊—」を手掛けることとなり、取材をしていくわけですが、その写真を見たときの印象と驚くくらい変わりません。

これはなかなか手ごわいぞ、と思うまで時間はかかりませんでした。お話しに聞く園井さんは、女性としてじつに魅力的ですが、演劇の主人公にするには、清廉潔白が過ぎるのです。途方に暮れました。

しかしいつまでも途方に暮れているわけにはいきません。わたしの愛する故郷、岩手を舞台にしたいと思い、物語の中心に繋温泉でのさくら隊の稽古の日々を置きました。演目は三好十郎の「獅子」。山梨の農村を舞台にした戯曲です。一読して驚きました。園井さんが演じるのは、猛烈とも言える頑固で気の強い農家のおかみさんなのです。写真から見る彼女のイメージとはかなりかけ離れています。わたしのなかで、苦勞しながらも、その役に夢中になっていく園井さんがかたちづけられはじめました。

さくら隊は最後、広島で原子爆弾に遭遇し、全員が亡くなります。園井さんもまたその運命から逃れることができませんでした。それは悲劇にほかなりませんが、演劇に出来ることは、その瞬間まで彼女たちが生きていた、ということ、どう描くかだけです。わたしたちの物語のなかで、演じる林田さんの魅力もあいまって、可憐だけれども気が強く、意固地なほどに演劇を愛した園井恵子さんが躍動しはじめています。劇場にぜひ会いにいらしてください。

「残花 —1945 さくら隊 園井恵子—」
作・演出 詩森ろば